

令和7年度 第8回  
希望郷いわてモニターアンケート

**かかりつけ医に関する意識調査  
報告書**

令和7年12月

岩手県保健福祉部医療政策室

## **I アンケート調査の概要**

### **1 調査課題名**

かかりつけ医に関する意識調査

#### **～「かかりつけ医」とは？～**

健康に関することをなんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介してくれる、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師（厚生労働省の定義を引用）のことで、1人の医師だけでなく、診療科ごとに複数のかかりつけ医を持つことができます。

### **2 調査の目的**

医師不足や診療科の地域偏在等の厳しい環境の中、岩手県では、県民が将来にわたり必要な医療を適切に受けるための地域医療を確保していくためには、医療従事者のみならず、県民もまた医療の担い手であるという意識を持ち、地域医療を支えていくことが必要であると考えています。

「かかりつけ医」を持つことは、医療従事者の負担を減らすだけでなく、自分や家族の健康状態を把握してもらうことにもつながります。県では、かかりつけ医をはじめとした適正受診の意識啓発に取り組んでいます。

本調査は、かかりつけ医に対する県民の皆様の認知度やイメージ等を調査し、今後の普及啓発や地域医療を確保するための参考としようとするものです。

### **3 調査期間**

令和7年11月5日（水）～11月19日（水）

### **4 調査方法**

調査紙郵送及びインターネット

### **5 調査対象**

令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名

### **6 回答者数**

149名

### **7 回答率**

74.5%

## Ⅱ アンケート調査の結果

問1 あなたは、「かかりつけ医」という言葉を知っていますか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄に記入してください。

### 【調査結果】

- ・「かかりつけ医」のという言葉は、すべての人が「知っている」と回答した。
- ・うち「言葉も意味も知っている」と回答した人は8割台半ばであった。

選択肢	人数	割合
①言葉も意味も知っている	127	85.2%
②言葉は知っている	22	14.8%
③知らない	0	0.0%

問2 あなたには、かかりつけ医がいますか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

- ・「かかりつけ医がいる」と回答した人は6割台後半であった。
- ・うち60代以上については、「かかりつけ医がいる」と回答した人が、他の年代よりも高く7割台後半であった。

選択肢	人数	割合
①いる	100	67.1%
②いないが いるとよいと思う	36	24.2%
③いない	13	8.7%

● 「かかりつけ医の有無×年代」のクロス集計表

	①いる	②いないが いるとよいと思う	③いない
10代	0%	0%	100%
20代	66.7%	33.3%	0%
30代	47.1%	23.5%	29.4%
40代	66.7%	13.3%	20.0%
50代	50.0%	42.3%	7.7%
60代	77.6%	22.4%	0%
70代以上	75.7%	18.9%	5.4%
未回答	100%	0%	0%

問3 問2で①と回答された方にお聞きします。そのかかりつけ医は、診療所の医師ですか、病院の医師ですか。かかりつけ医が複数いる場合は、あてはまる番号をすべて選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

- ・かかりつけ医としている医師については、割合が大きい順に「診療所の医師」と回答した人が 85.0%、「病院の医師」と回答した人が 27.0%、「大病院の医師」と回答した人が 8.0%であった。

選択肢	人数	割合
①診療所（医院、クリニック等）の医師	85	85.0%
②病院の医師	27	27.0%
③大病院（岩手医科大学附属病院及び県立中央病院）の医師	8	8.0%
④わからない	0	0.0%

問4 あなたが受診する医療機関や医師を選ぶ理由は何ですか。あてはまる番号をすべて  
 選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

- ・「受診する医療機関や医師を選ぶ理由」として最も多かったのは、「住まいの近所だから」で57.7%、次に「現在の主治医だから」で51.7%であった。

選択肢	人数	割合
①身近で何でも相談できるから	61	40.9%
②現在の病気の主治医だから	77	51.7%
③必要な時に専門医、専門医療機関を紹介できるから	56	37.6%
④総合的な診療を行う能力を有するから	33	22.1%
⑤自分や家族の病歴などをよく知っているから	31	20.8%
⑥住まいの近所だから	86	57.7%
⑦職場の近所だから	13	8.7%
⑧医師や看護師の対応がよいから	45	30.2%
⑨夜間・休日にも受診できるから	6	4.0%
⑩特に理由はない・わからない	1	0.7%
⑪その他	5	3.4%

●その他（自由記載）

- ・小学校の同級生である
- ・詳しく説明をしてくれるから
- ・夜遅くまで診療しているから
- ・総合病院で設備が整っている方だから
- ・産業医だから

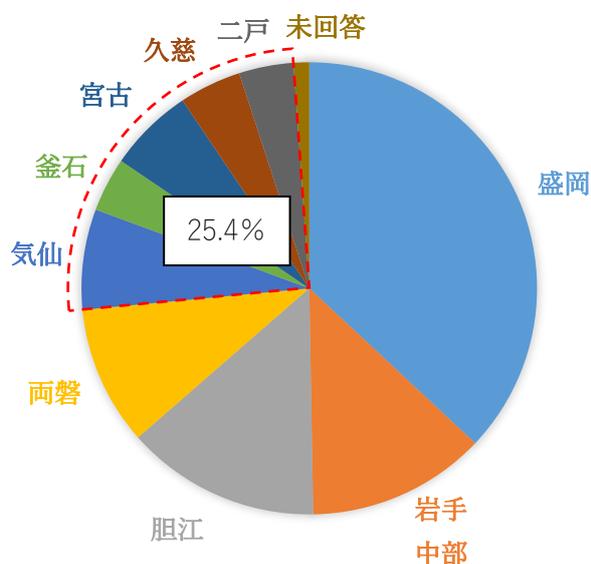
問5 あなたの自宅（職場等を含む）から普段受診する医療機関までの移動にかかる所要時間はどれくらいですか。普段受診する医療機関が複数ある場合は、あてはまる番号をすべて選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

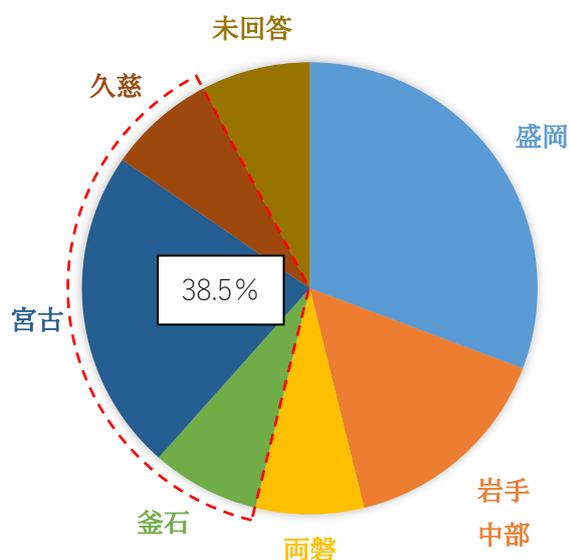
- ・「普段受診する医療機関までの移動にかかる所要時間」として最も多かったのは、「0分から15分」で60.4%であった。
- ・「1時間未満」と回答した人のうち、**県北沿岸地域**に住んでいる人が**25.4%**だったのに対して、「1時間以上」では、**県北沿岸地域**に住んでいる人が**38.5%**だった。

選択肢	人数	割合
① 0分から15分	90	60.4%
② 15分から30分	57	38.3%
③ 30分から45分	24	16.1%
④ 45分から1時間	10	6.7%
⑤ 1時間から1時間15分	2	1.3%
⑥ 1時間15分から1時間30分	4	2.7%
⑦ 1時間30分から1時間45分	2	1.3%
⑧ 1時間45分から2時間	2	1.3%
⑨ 2時間以上	3	2.0%

「1時間未満」×居住地（二次保健医療圏）



「1時間以上」×居住地（二次保健医療圏）



問6 あなたがお住まいの地域にあって良かったと思う診療科は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

・「あって良かったと思う診療科」として最も多かったのは、「内科」で 89.9%、次に「歯科、口腔外科」で 69.8%であった。

選択肢	人数	割合
①内科	134	89.9%
②外科	68	45.6%
③整形外科	66	44.3%
④小児科	47	31.5%
⑤婦人科、産婦人科	35	23.5%
⑥眼科	71	47.7%
⑦耳鼻咽喉科	58	38.9%
⑧皮膚科	61	40.9%
⑨泌尿器科	26	17.4%
⑩精神科	20	13.4%
⑪歯科、口腔外科	104	69.8%
⑫その他	3	2.0%

●その他（自由記載）

- ・脳神経科
- ・診療所
- ・受診しない

問7 あなたがお住まいの地域に不足していると思う診療科は何ですか。あてはまる番号をすべて選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

・「不足していると思う診療科」として最も多かったのは、「婦人科、産婦人科」で53.0%、次に「耳鼻咽喉科」と「皮膚科」で38.3%であった。

選択肢	人数	割合
①内科	10	6.7%
②外科	19	12.8%
③整形外科	36	24.2%
④小児科	47	31.5%
⑤婦人科、産婦人科	79	53.0%
⑥眼科	44	29.5%
⑦耳鼻咽喉科	57	38.3%
⑧皮膚科	57	38.3%
⑨泌尿器科	25	16.8%
⑩精神科	30	20.1%
⑪歯科、口腔外科	9	6.0%
⑫その他	17	11.4%

●その他（自由記載）

- ・ 総合診療科、脳外科、小児神経科、障害児歯科
- ・ 診療所と歯科しかない状況です。
- ・ 内科、整形外科にしか通ったことがないのでわからない
- ・ ⑧皮膚科は週1回、他の病院から来てくださる
- ・ 町内はすべて不足
- ・ 母に付き添って行った時、すごく待たされたので、どの科ももう1件あったと思った
- ・ 不足とは感じていないが、自分に合う診療科は町外にかかっている
- ・ 不足はない
- ・ 受診しない
- ・ 住んでいる地域がどこまで含まれるかわからないので答えにくい

～ここからは、広く岩手県の医療について伺います。～

問8 岩手県には、県立病院が20病院あり、都道府県が運営する病院としては、全国で最も多い病院数です。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

- ・岩手県の県立病院の数が、全国で最も多いことについて、「知っていた」と回答した人は27.5%であった。

選択肢	人数	割合
①知っていた	41	27.5%
②知らなかった	108	72.5%

問9 医師の相対的な偏在の状況を示す指標として「医師偏在指標」があります。令和5年度に厚生労働省が公表した、岩手県の「医師偏在指標」は全国最下位となっています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

- ・岩手県の「医師偏在指標」が全国最下位であることについて、「知っていた」と回答した人は28.2%であった。

選択肢	人数	割合
①知っていた	42	28.2%
②知らなかった	107	71.8%

●自由記載

- ・そもそも「医師偏在指標」という言葉すら聞いたことがありません。よって、何の意味かもわからない。
- ・問9の医師偏在指標は、初めて知った言葉です。もう少し、この言葉の意味、内容等について、解説、説明文が無いときちんとした回答ができないと感じました。

問 10 岩手県では、県民の皆様の安心の確保と消防や医療機関の負担軽減を図るため、急なケガや病気の時に、救急車を呼ぶか、様子を見るか迷う場合に無料で電話相談に応じる、救急医療電話相談ダイヤル「#7119（シャープ・なな・いち・いち・きゅう）」を開設しています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまる番号を1つ選び、回答欄に記入してください。

**【調査結果】**

・救急医療相談ダイヤル「#7119」が開設されていることについて、「知っていた」と回答した人は 50.7%であった。

選択肢	人数	割合
①知っていた	75	50.3%
②知らなかった	73	49.0%
未回答	1	0.7%

●自由記載

・知ってはいるが、急いできるとき、まずは救急車を呼んでしまうと思うけど・・・と、いつも思ってしまう。(あわてたら呼んでしまいそう)

●「#7119 の認知度×年代」のクロス集計表

	①知っていた	②知らなかった	未回答
10代	0%	100%	0%
20代	66.7%	33.3%	0%
30代	70.6%	29.4%	0%
40代	53.3%	46.7%	0%
50代	53.8%	46.2%	0%
60代	46.9%	53.1%	0%
70代以上	40.5%	56.8%	2.7%
未回答	100%	0%	0%

問 11 かかりつけ医、又は岩手県の医療に関して、お気づきの点やご意見・ご要望等があれば回答欄に記入してください。

●「かかりつけ医」に関する意見等

1	<p>かかりつけ医の定義がよくわからないが、患者がかかりつけ医だと思っ ても、医師はその患者のかかりつけ医になっているという意識はないとい うことでもあるのではないかと思う。お互いに同じ認識を持っていなければ、か かりつけ医に何を期待して良いのかわからないのでは。</p>
2	<p>出来ることがあれば、幅広く診療していただければ助かります。</p>
3	<p>高齢化に伴い、医療機関の果たすべき役割はますます増えています。 私は盛岡市の住宅街に住んでいるのと、まだあまり病気や怪我がないで、あ まり医者に不自由することはありません。 しかし岩手は広い。農村部、山間部、沿岸部。医療格差はすごく大きくだ ろうと思います。県民が安心して暮らせる医療をどうぞ目指してください。 そしてかかりつけ医を持ちましょうとの啓発はもっと大きい声で言っても いいと思う。 ちょっとした病気や怪我で大きい病院に最初から行くのは効率が悪いで す。</p>
4	<p>かかりつけ医画あるのはとても良いことだと思います。しかし、病院は偏 りがあると思います。歯医者は多いが、泌尿器科が少ない。人工透析出来 る病院も少ないかと思っています。</p>
5	<p>健康な場合年に一度通院するかしないかの病院の場合自分がかかりつけ 医と思っ ても病院側はそうとっ てはいないのかなと考 えてしまいます お互い かかりつけ医として認 識し、病 気のこと などもわ かって もらい 相対 的に 判断 して もら うた め に も か か り つ け 医 の 場 合 割 引 が あ っ た り 、 か か り つ け 医 と し て お 互 い 分 か る も の が あ る と 安 心 で き る な と 思 い ま す</p>
6	<p>実際に病気になってみると、かかりつけ医のメリットが実感しない</p>
7	<p>体の不調や不安を相談できるかかりつけ医が近くに居ると安心ですが、居住 地にはクリニック等がほぼ無いため、近隣市町村または隣の県のクリニックに頼 らざるを得ない状況で、かかりつけ医を選べないのが実情です。 一方で、クリニックの専門医が総合的かつ的確に判断できる医師かどうか、信 頼関係を築くのは難しいと感じています。 まずは、地域に医療機関が充足して始めて、個々に合ったかかりつけ医を見つ ける事が出来るのではないのでしょうか。</p>
8	<p>かかりつけ医的な医師は持っ ても、いつもと違う症状が出ると、つ いつ い、大きな病院に行ってしまう傾向 があります。ひとまず大きな病院、 県立病 院とか 医大、 を受診 すれば、 一安心、 という 風潮が ありま す。身 近な かか りつ</p>

	け医が勤務している診療所などは、検査や治療するための設備が限られているので、早く診断して治療してもらうためには、大きな病院で診てもらおうとなってしまう現状を、もう少し改善する必要があると思います。
9	今は健康なので医療機関にあまり行くことがないのですが、これからどのようにかかりつけ医を考えていけばよいのか教えてほしい。
10	病気になることがなく、病院に行くことがないので、かかりつけ医もない。皆、どうやって探せているのだろう。

### ●自身のかかりつけ医（医療機関）に関する意見等

1	自分との同世代の医者が、いなくなり、その子供たちの時代になってきています。心やすく相談できない状況です。自身で知覚する症状を、自己判断のまま、生活しています。老後ですから、それも有りかなと、思います。
2	かかりつけ医が代替わりされて息子さんの代になり、カルテを見れば症状が分かるのですが、長く係わってもらった先代から引継ぎがうまくなされたのか、少々不安です。
3	かかりつけ医が高齢になってきていて不安。後継ぎがいれば良いが、いないと次に誰がきてくれるのか、田舎の医師特典があればよいと思う。
4	月1～2回通っている内科、歯科、整形外科の先生は、相談しやすく安心して生活できている。
5	病院が遠い。 ・診療所休診日が多い。
6	県立の病院数が多くても信頼、頼れる病院でないと不安。2年弱前に交通事故にあい、久慈病院にはこばれ治療、手術した。全治1ヶ月と診断されたが、2年弱になるのにまだ通院。手術後のフォローとカリハビリの状況とかその後につきいかかわらず放った感になり不信感で一杯。
7	そもそも医者にかからないのでかかりつけ医はいない。精神科が少なくて病院にかかれぬ。予約必須なのも憂鬱。
8	いつもはかかりつけ医にしているところに行っても、なかなか不調が良くならない・・・などの理由で、もっと大きな医療でと希望しますが・・・例えば、県立病院が全国で最多といえども、必要なときには新患では診てもらえず”たらい回し”になることがあった。”生死の問題に関わる人でないとすぐ診ないと言われた。その時、”あー、命に上下があるんだなあ”とショックを受けてから国立、県立には行かない。
9	町医者は、いきなり怒ったり、今迄症例のない患者がきてもそんなやつはいないと話も聞いてくれない。紹介状もないので、自分から大きい病院に行くしかなくなる。都会の病院へ行くと対応が全然違うので涙が出そうな程ありがたい

	<p>です。仙台の病院や盛岡の病院に通っていますが、お金がかかり遠いのでとても大変ですが、言葉づかいも丁寧できちんと対応し見てもらえます。</p> <p>町医者への対応を教育できたらいいのかもしれませんが、頭の良い方々で長年そのようにやってきているので難しいのでしょうね。歳をとるので良い医者が多い都会に住みたいと家族と話しています。</p>
10	私のかかりつけ医はとても親切な先生で大変助かっています。
11	滝沢市において野沢地区に皮膚科がなく困っている。助けて頂きたい
12	<p>・今の所、近くにある医療機関を利用して不便は感じないが、平日に内科等休診の場合、利用したくても、利用できない時があり、その点では不便を感じている。</p> <p>・今は混雑しない時間帯に利用するようにしているが、もう少し年齢が上がればそうもいかない事は心配だ。</p>
13	最近、かかりつけ医（自宅が近い医院）で治療方法の意見というか、検査が多くないですか？と言ったらもうこなくてもいいです、と言われました。岩手医大や他の病院では患者の立場にたって治療してくれます。検査回数（血液検査等が多かったり、薬を大量に出したり、相談できる機関はないのでしょうか。
14	かかりつけ医に対して、以前薬をもらう時、1回の処方箋が2回薬を薬局でもらうことを申請したが、できないと言われた。厚労省ではこの制度を推奨していると聞くが、このかかりつけ医は自分の利益のためか反対している。反対している患者が希望すれば処方箋を出すことにするように、この制度の運用を改める必要があると思います。又、県でもこの制度を適正な医療受診のためにも広く周知すべきである。以前こんなこともありました。私が今回は薬だけほしいですと言うと、先生が診察せずに処方箋を出し、請求書には再診の金額がありました。
15	大学病院に直接診察をしてもらいに行ってもかまわないのですか？矢巾の大学病院に行っても良いのですか？内丸ですか。ダメですか？
16	<p>震災直後、急性心筋梗塞を発症し県立病院に救急搬送され一命を取り留めた、治療数ヶ月後にかかりつけ医を紹介（選定）され、毎月検診（健康相談）、治療薬の処方等でお世話になっています。</p> <p>体調不良等があれば気軽に相談でき、的確なアドバイスを頂き、専門的な病院を紹介していただいたり、患者にとっては大変ありがたい制度に感謝しています、故に他病院を受診した際には全て今のかかりつけ医に結果を提出（報告）し総合的に健康管理をしていただいている現状です、先生も高圧的な所が無く患者に親切な先生（かかりつけ医）におもわれます。</p> <p>患者にとっては何でも聴いてくれる、相談できる先生が一番です（通院検診後は安心します）・・・設問の趣旨とは相違するかも、体験談から、かかりつけ医の安心感・・・</p>

17	赤字経営を改善してもらいたい。患者にわかりやすく、やさしく接してほしい
18	昨年まで住んでいた地域は、県立病院の規模がどんどん縮小され、かかりつけ医からの紹介もなされないような所でした。各医院も自分の所に来る患者を手放したりしないような診療所もあって、今の地域に転居してきて、地域によって、かなり格差があると思っています。
19	<p>かかりつけ医が以前はあったが先生の高齢や病気などで閉院されたため、今はかかりつけ医を持っていない。</p> <p>特別、長期的な治療の必要な病気がなかったために次のかかりつけ医を選択したり紹介してもらう機会に恵まれなかったので、今度不調になった際にどこにかかるか、かかりつけ医をどう選べばよいか悩んでいる。</p> <p>病気や治療がなくても、閉院になった際にどこか紹介や今までの些細な病気がケガ・予防接種などの医療の引継ぎをしてもらえるようなシステムがあれば、新しい病院に行く際の敷居が低くなり次のかかりつけ医を決められるのではないかと考えている。</p>
20	総合診療医が来てくれてからたらいまわしが少なくなって大変良い
21	いざという時に、総合的な検査、手術入院が出来ると思って 選んでいますが しっかりした気持ちを持っていないと 即薬の服用を勧められるので、経営が厳しいからなのかなと思っています。薬には副作用がつきものという考えがあり、自分の努力で改善することを常に考え受診しています
22	かかりつけ医の先生はとてもいい先生で、高血圧で 15 年お世話になってます。先日もかぜをひき診ていただきましたが、先生も高齢なので、この先何年診ていただけるか不安です。

●医療機関の待ち時間に関する意見等

1	大変混んで2時間待ちの状態です。診察は5分・・・これが少しでも解消されればいいのですが。コロナで施設入所の面会十分できませんでした。今、県はどんな指導しているのでしょうか
2	待ち時間が長い問題は病院不足からだと思うので、医療機関がうまく運営できるようになってほしい。体調不良で行くとますます悪化しそうで心配になります。
3	待ち時間が長い
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かかりつけ整形外科で6時間以上待たされ、あきらめ帰った経緯があるが、患者に待たせる状況を伝えるとか、外出させるとか配慮がほしい。予約しても2時間はかかっている。</li> <li>・一方でweb予約の病院も多くなってきているが、デジタルに弱い高齢者には不便をきたす体調が悪く受診しようとしても、今日の予約は終了しましたと門前払いを食らう。予約制の中にも別枠等、考慮がほしい</li> </ul>
5	歯医者に関しては近くにいいお医者さんがいるので定期的に行くことができ便利です。内科に関しましては近くにありますが、いつもいっぱい時間がかかるので隣の病院へ行くことがおおいのでその辺が少し改正になればできれば近くの病院へいきたいと思っています。

●県内の医療提供体制に関する意見等

1	<p>県内の医療従事者の皆さん、医療政策を担う職員の皆さん。大変お疲れ様です。</p> <p>私が住む地域は、県立病院の地域診療センターのほか医療生協や開業医による医院やクリニックがありますが、開業医の先生方の高齢化は否めず、先生が亡くなって医院が廃院となったところもあり、その先生をかかりつけ医としていた方も多くいました。限られた医療資源で何ができるか、やはり全県的に医師の養成確保が喫緊の課題であると考えます。そこで、県医療局による医師養成のための奨学制度について、岩手医科大学とこれまで以上に連携を図り制度の拡充を図る必要があると思います。</p> <p>また、設問にもあったとおり、岩手県は県立病院の数が全国でもっとも多いことは、地域医療に注力する当時の県による医療政策によるものですが、それには県営医療の原点である「県下にあまねく良質な医療の均霑」を再度顧みる必要があると考えます。県営医療は依然として経営は厳しいことは承知のことですが、平成20年代あたりから県内の県立病院を集約して無床の地域診療センター化するなど経営の改善のために改革することは致し方ないとも考えます。県</p>
---	--

	立病院の中核を担う中央病院の機能拡充も大切ですが、特に地域診療センターの診療科目追加などの機能強化拡充を行うことも必要であると思います。
2	問8で県立病院が20病院あるというが、医者がおらず、休診している科が多くある。県立病院の呈をなしていない。盛岡から離れば離れる程、その感は強く受ける。岩手県を6地域に分け、その地域の1つは全ての科に複数が常駐する体制を作ってほしい。
3	私の住んでいる街は比較的病院の数が多く困っている訳ではないのですが、市町村によっての片寄りが感じられます。県立病院でも診察のない科があったりで・・・。セカンドオピニオンの事ですが、いくらかかりつけのクリニックでも診察に不安を感じながら行動をおこせず不安に思っている友人がいます。セカンドオピニオンのあり方を考えていただけたらと思います
4	今後高齢化が進み病院に通院する手段も大変な時期に差し掛かっている今日です。自家用車での通いも大変な方が増えている現状に県としても対策を今後しっかり整えることが大切かと思えます。 在宅診療をはじめ訪問介護の充実化を図っていただきたいと思えます。 現在、人員不足が問題視されている現状なかなか難しい問題かと思えます。 しかし、これはやらなければならない問題で、待った無しの問題かと思えます。是非々県の対応をお願いいたします。
5	病院の少ない(ない)過疎地域への問題も並行して考えていくべきだと思う
6	車で30分位の所に県立病院がありますが、専門医が曜日によって不在の時間が多くあります。私が住んでいる地域では、救急時に救急車で運ばれる際には医師が充実した他の県立病院への搬送を希望しても、まずは一番近くの県立病院へ行ってからと救急隊員が譲りません。 このケースで死亡した方々も一人二人ではありません。緊急時には近いからというより、本当に必要な専門医が待機している病院への搬送をしてくださるよう徹底して頂く事を強く要望します。地理的に不利な状況により結果的に命の選別をされているようで残念です。
7	陸前高田市は内科、歯科は充実している。 クリニックなど土曜日もやっているため利用しやすいが、診療科が限られているため、子供が通学しながら早退遅刻をせずに通院できたり、夕方以降や土日祝日に開いている病院ができてほしいと思えます。 また、陸前高田市の県立高田病院は夜間急患を受け入れておらず、大船渡市まで行かなければならないのは不便だと感じます。
8	岩手県は病院が多いといっても土地面積たいがとても多くやはり病院が充実している実感はありません。病院の負担を考えるとすれば日頃の健康管理で病院いらずと目指すことではないでしょうか

9	<p>地域にあった開業医による皮膚科がなくなり、大変困っています。家族に湿疹ができて、県立病院に予約するも3週間待ちとのこと。他県の病院は遠くて通えず、他町の病院に問い合わせると1週間に1日（午後のみ）診療を行っているとのことでしたが都合がつかず。結局3週間我慢して県立病院で診てもらいました。</p> <p>年齢が上がると診察を受ける科も増えていきます。</p> <p>必要なときに必要な治療が受けられてこそ安心して暮すことができます。</p> <p>医師不足や病院の縮小は重大な問題です。発展的な医療政策をお願いします。</p>
10	<p>98才の母具合悪くなり、迷ったけど119に電話して#7119を教えていただいて、かけてみたが、通じなく、又、119に電話して#7119の回線が1つしかないことを知り、不足していると思った。その日は救急車に出動していただいて1ヶ月弱の入院で済み、今、元気になっている。</p>
11	<p>市部集中しすぎだと思います。経営がなりたたないからですか。</p>
12	<p>娘が盛岡から地方に転勤した際、幼少の子連れでした。その時、診療所の少なさに苦労しました。診療所を選べない。待ち時間が長い、専門医が少ないなどでした。したがって休暇を取り、盛岡まで通院しましたが、必要な回数の通院が出来ませんでした。</p>
13	<p>県立病院は必要だと思います。その土地に県立病院がなくなれば、その土地はますます過疎化になります。</p>
14	<p>県立病院が全国で最も多いと言うのに驚きました。面積が広いので納得ですが、頼りになるのでずっとあって欲しいです。地元の市立病院の建設が議論されて居ますが現状難しい問題だなと思っています。</p>
15	<p>広く人口のかたよりのある岩手県なので、せめて20の県立病院の現在の機能を維持させるように努力してほしい。（予算、医師等の確保）</p>
16	<p>かかりつけ医は、健康寿命を保つうえで大切と感じる。県立病院へのつなぎの役目も果たしており、重要である。</p> <p>隣市のかかりつけ医に30～45分かけて通っているのは、町内に信頼できる医師がいないため。やはり、市の力量にかかっていると思います。</p>

●県内の医師確保に関する意見等

1	私の地域は過去 15 年間で 6 院が閉院しました。今後も医師の高齢化で閉院ありそうです。とても不安です。
2	全体的に医師不足が心配です
3	娘が重い病気だが医者が疲れている時がある。こちらが心配する時がある。
4	岩手に病院が多くても、信頼できる医師が少なすぎるので、もっと医師を増やすべきだと思う。
5	医師偏在指標が最下位とは知らなかったが、医師の少なさ（減少傾向）は実感がある。近くの開業医の中には世代交替がうまくいく医院もあるが、医師の高齢化も気になる。
6	かかりつけ医としての診療所の多くが閉院している昨今、引き継ぎ継承する医師の確保が緊急課題だと思います。地域の医療期間（個人経営医院等）に保険診療報酬の上乗せを県独自支援として行って欲しいと思います。閉院した診療所への医師招聘若しくは、県立病院医師（特に産婦人科・小児科）の派遣を検討しては如何でしょうか？。専門領域に偏らない医師の育成にも繋がると思います。
7	一関市と奥州市内に県立病院があり、安心ではありますが、重病人が行くところという認識です。かかりつけ医の紹介状がないと行くことのない所です。よい先生がいらっしゃる所と思いますが、行っている方の声は、あまり評判がよくない。良い先生を育ててほしい。
8	県の面積に対する人口が他よりも少ないからか、医者の数も少ないように感じる。大数が増えれば質も上がると考えるので、医者の数を増やせるようにして欲しい。また、県内の小児科でコロナワクチンを扱うところがないと思われるので、県立病院が 20 もあるというならば、せめて、県立病院で予防接種できるようにしていただきたい。
9	医師不足の中、近くにある病院も専門科が減っている。遠くまで通う様になると、体にも負担になるので改善されると良い。
10	県立病院、市立病院がある市は共に手をつないで一本化してほしい。医者が少なくなっている時代、一本化して医者を確保して続ける道を探っていくべきだと思います。
11	かかりつけ医と言っても内科で整形外科職掌のことは相談しにくいし、相談された先生も困ると思う。何科に行ったらいいかわからない場合もあり、総合診療科が身近にあったらいいと思います。 良いクリニックはいつも混んでいて 3 時間待ちもざら。かかりつけ医にしたいけども現実には毎回 3 時間待つのは大変で健康診断で引っかかってもいなくて

	もいいと思ってしまう。クリニックの数も大事ですが、いい医者（クリニック）が増えてくれることを願います。
--	---

●産科、小児科等に関する意見等

1	当地域は、高齢化率 40%以上で高齢者対応の医療が優先されていますが、産婦人科のある病院まで時間がかかり、安心して出産できない状況です。安心できる方向に改善して頂きたい。
2	県立病院には、ぜひとも産科を設けてほしい
3	胆江地区では産婦人科医がいなく、子供を産める病院がない状況です。再度、胆沢病院で産婦人科を復活し、産める環境をつくってください。
4	奥州市には県立2、市立3と公共病院があるが、どれも中途半端で安心できない。胆沢病院は産科がよくなって開業医もすべて出産を断るようになっていて、若者が安住しなくなっている。また、前にあった脳外科も手術できなくなって高齢者も不安が増してきている。公立病院の数より本当の総合病院が1つでもあってほしい。
5	奥州市、金ヶ崎町の住民の網：県立胆沢病院には産科がありません。大変困っています。岩手県には県立病院が 20 病院あり全国で最多と書いていますが、その住民が何の診療科を要望しているかを把握することが大事ではないか
6	自宅近くには、内科や歯科、耳鼻咽喉科はあるが、皮膚科や外科、小児科の診察が隣市町村に行かなくても受診できるようになればいいと思う。そのためには、総合病院でなくても、医院やクリニックでも横の連携を構築し、患者に寄り添った診療体制が出来ればいいと思う。保育施設などは少子化の時代にあって、ここ数年新たに出来ているが、特に小児科は少なすぎるような気がする。
7	自分が住んでいる地域には産婦人科が無い為、遠方での出産など、病院もそうだが、医師が少ない事は分かっている、東京都の様までとはいわないが、全国的に平均な医療が受けられる岩手県になって欲しいと願っています。
8	岩手県は病院の偏在化がひどいとは思っていたが、最下位というのは知らなかった。地理的にかなり行きにくい所があり、診療所や病院も医師等が行きたがらず、色々な難点があるのだろうと思う。リモートによる診療などの整備も解消の手段になるのではないだろうか。産科婦人科もない所があり、安心して産める状況ではないと思う。病院等の充実は急務だと思う。少子化の原因の1つになっていると思う。

### Ⅲ 回答者の属性

#### (ア) 性別

	男性	女性	その他	未回答
人数	65	83	0	1
割合	43.6%	55.7%	0.0%	0.7%

#### (イ) 年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未回答
人数	1	3	17	15	26	49	37	1
割合	0.7%	2.0%	11.4%	10.1%	17.4%	32.9%	24.8%	0.7%

#### (ウ) 職業

	自営業 (農林魚業)	自営業 (農林漁業 を除く)	会社員	団体職員	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他	未回答
人数	10	11	40	18	23	4	28	9	6
割合	6.7%	7.4%	26.8%	12.1%	15.4%	2.7%	18.8%	6.0%	4.0%

#### (エ) 居住地 (二次保健医療圏)

	盛岡	岩手 中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	未回答
人数	52	22	22	15	10	5	9	7	5	2
割合	34.9%	14.8%	14.8%	10.1%	6.7%	3.4%	6.0%	4.7%	3.4%	1.3%

#### ※二次保健医療圏の説明

盛岡	盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町
岩手中部	花巻市、北上市、遠野市、西和賀町
胆江	奥州市、金ヶ崎町
両磐	一関市、平泉町
気仙	大船渡市、陸前高田市、住田町
釜石	釜石市、大槌町
宮古	宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村
久慈	久慈市、普代村、野田村、洋野町
二戸	二戸市、軽米町、九戸村、一戸町